

大型車対応へ 大きく前進

駒寄ICの大型車通行可

12月17日、駒寄IC周辺整備およびJR新駅設置促進対策特別委員会が開かれ、駒寄スマートIC大型車対応化改修の概要が明らかになりました。

駒寄スマートICは小型車限定で運用されていますが、1日6千台後の利用交通量で、全国2位の実績を誇っています。概算事業費は12億円で、29年度の完成を目指しています。

この大型車対応化改修により、利用者の利便性の向上、産業の活性化、観光の振興、防災や災害時の対応の強化などの効果を見込んでいます。

大型車対応化改修の必要性

大型車対応化改修により、利用者の利便性の向上、商業など産業の活性化、観光の振興、防災や災害時の対応の強化などの効果が得られる。

◎周辺の大規模小売店舗・自動車関連店舗数

社会実験前7店	社会実験後20店
---------	----------

◎周辺の主要観光地（年間観光客数）

榛名山（約100万人）	伊香保温泉（約200万人）	赤城山（約170万人）	敷島公園（約140万人）
-------------	---------------	-------------	--------------

◎周辺の防災・災害時拠点施設

陸上自衛隊第12旅団	相馬原駐屯地（距離約4キロ）	道の駅（よしおか温泉（距離約3キロ）ほか3箇所）
------------	----------------	--------------------------

事業の流れ

駒寄スマートIC



榛東村道路線の 認定承諾について

まちは、榛東村から町内の一部路線を榛東村路線として認定することを求められ、議会は承諾しました。
(関連記事4ページ)
|| 全会一致で可決 ||

第4回 定例会

平成25年第4回定例会は、12月6日から17日までの12日間の会期で行いました。今定例会では、議案8件、発委1件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

補正予算

12月

平成25年度各会計別補正予算の状況

(万円未満は四捨五入)

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	2,692万円	67億1,002万円
公共下水道事業	1,260万円	3億9,536万円
農業集落排水事業	▲283万円	1億4,597万円
介護保険事業	▲2,242万円	11億6,702万円
水道事業会計		
収益的収入	20万円	3億9,758万円
収益的支出	81万円	3億9,098万円

